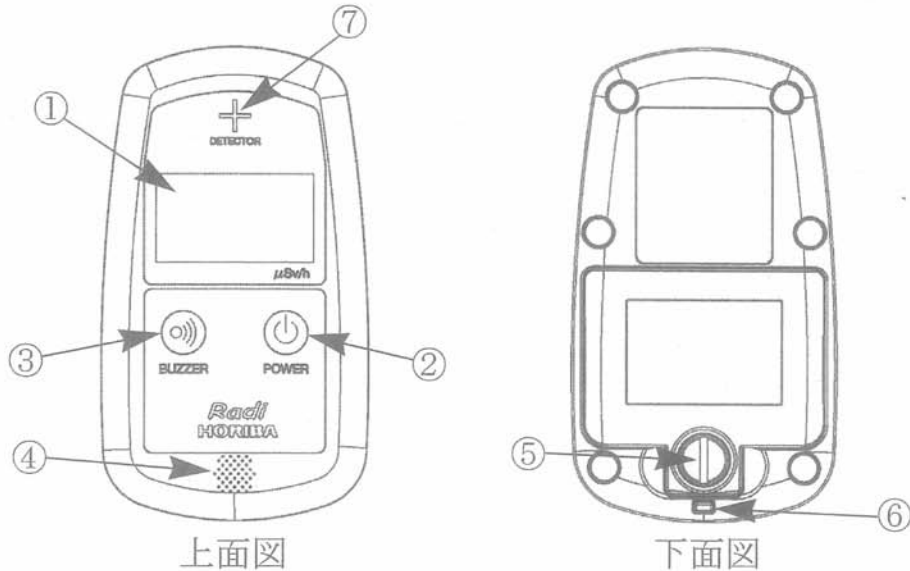




【取り扱いの注意点】

1. 精密機械のため衝撃や振動を与えないようていねいに扱うこと。
2. 雨の日などはなるべく使用しないこと。また、本体に水がかかった場合はすぐにふき取ること。
3. 機器本体を地面に置かないこと。（土や草などを付着させないため）
4. 次のような場所には置かないこと。
 - ・ 直射日光の当たるところ
 - ・ 温度が高くなる場所（40℃以上になる場所）
 - ・ 湿度が高いところ
 - ・ 温度が低すぎる場所（-5℃以下になる場所）
5. 「各部の名称と働き」及び「R a d i の使い方」を十分に理解した上で使用すること。

各部の名称と働き

Radi には、測定値を表示する液晶表示部と 2 つのボタンがあります。



- | | |
|------------|---|
| ①液晶表示部： | <p>γ 線の線量当量率の表示 (0.001 ~ 9.999 $\mu\text{Sv/h}$) を表示します。表示は 10 秒ごとに 60 秒間の移動平均を表示します。</p> <p>計数音発生マーク </p> <p>電池残量マーク </p> |
| ②電源ボタン： | 0.5 秒間長押しすると電源が入ります。再度押すと電源が切れます。 |
| ③ブザーボタン： | 一度押すと γ 線が検出されるごとにブザーがピッと鳴ります。また、計数音発生マークが点灯します。再度押すと計数音は鳴りません。電源 ON したときは、計数音は出ない状態になっています。 |
| ④ブザー用穴： | ここからブザーの音が出ます。 |
| ⑤止めネジ： | 電池交換時に、コインなどを使って回し、フタをはずして電池を交換します。 |
| ⑥ストラップ用穴： | ストラップを通す穴です。 |
| ⑦センサ位置マーク： | ここに放射線を検出するセンサが入っています。 |

Radi の使い方

1) 電源を ON にしましょう



POWER 電源ボタンを、ピッとブザーの音が出るまで押してください (0.5 秒間長押し)。電源ボタンをもう一度押すと電源が切れます。

ピッと音がでたら準備 OK です。

ななめに強く押したり、ボールペンの先で押すと、ボタン部分が破れることがあります。

最初の 35 秒間の表示

電源ボタンを押して電源を ON にするとブザーが 1 回発音し、数字 35 が点灯し、1 秒ごとに数字が 1 つずつ減ります (測定の準備中)。



電源 ON 後 35 秒以降の表示

電源 ON 後 35 秒以降は放射線の指示値を表示します。



液晶に表示される数値の単位は【 μ Sv/h】となります。よって上の数値は
0.065 マイクロシーベルト/h です。

● **ご注意！**

最初の 60 秒間は最初の移動平均の途中です。

正確に測定するには 60 秒以降の指示値を採用してください。

2) ブザーが鳴るようにしましょう



BUZZER ブザーボタンを押すと、液晶表示部の左上に計数音発生マークが点灯し、放射線が入ってくるごとにブザーが発音します。ブザーボタンをもう一度押すと計数音発生マークが消灯し、発音しなくなります。

3) 放射線を測りましょう



液晶表示部の前方についている「+」マークの下に放射線を検知するセンサがあります。センサが放射線を検知すると、放射線の量に応じた表示が出ます。

表示は、移動平均値が表示されます。

放射線の量が多くなって、9.999 $\mu\text{Sv/h}$ 以上になると、数字が点滅して、オーバーフローしていることを示します。

4) 電源を切りましょう



POWER 再び電源ボタンを押すと、電源が切れます。

5) オートパワーオフ機能

最終操作から 3 時間で自動的に電源が切れます。電源が切れるときは、以下の表示 (A.OFF) が点滅表示し、約 10 秒後に電源が切れます。

A.OFF